

令和7年度（2025年度）

京都市立芸術大学大学院 音楽研究科 博士（後期）課程 入学試験問題

[語学試験]

英語

（音楽学領域）

令和 7 年度 (2025 年度)
京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士 (後期) 課程入学試験
英語 (音楽学)

問1. 下線部を和訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典 : Clarke, E. (2002). Understanding the psychology of performance. J. Rink (Ed.), *Musical performance: A guide to understanding* (p. 59), Cambridge, New York, Melbourne, Madrid and Cape Town: Cambridge University Press. (一部改変)

- 問2. 以下の英文は、音楽演奏における身体の構え・姿勢（postures）と動き（motion）について述べられた文章から冒頭3段落を抜粋したものです。この英文を読んで次の問いに答えなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：Godøy, R. I. (2017). Postures and motion shaping musical experience. M. Lesaffre, P-J. Maes, & M. Leman (Eds.), *The Routledge companion to embodied music interaction* (p. 113), New York: Routledge. （一部改変）

- (1) 第1段落と第2段落の内容をそれぞれ150字程度（二つの段落を合わせて300字程度）の日本語で要約しなさい。
- (2) 下線部 (A) について、「音楽において連続的なものと不連続（断続）的なものが共存すること」を理解することがなぜ重要だと考えられるか、本文の内容に照らして、あなた自身の考えも含めながら、300字程度の日本語で論述しなさい。